



もりどうしんかつどう

ダム守同心活動について

◆ ダム守同心活動って？

ダム守同心（もりどうしん）活動とは、ハイヅカ湖周辺の住民の皆さんと関係機関、灰塚ダム管理支所が連携して、ハイヅカ湖やハイヅカ湖の周辺の地域で発生するゴミの投棄や公共施設の異常、水質の異常などに対応することで、将来にわたってハイヅカ湖とその周辺地域の美しく豊かな自然環境を保全するという活動です。

正式には「水源地域住民との連携による灰塚ダム貯水池保全活動」といいますが（普段は「ダム守同心活動」と呼んでいます）。

<この活動の目的は大きく3つあります>

1. 水源地域の住民、関係機関及びダム管理者の連携を将来にわたって堅持。
2. 信頼性の高い情報連絡体制を構築、異常の早期発見・対応、違法行為等の発生抑制
3. 美しく豊かな自然環境の保全、美化意識の醸成、公共施設の適切な維持管理

◆ ダム守同心って？

ダム守同心とは、この活動に賛同し、自らボランティアでこの活動に参加する意志を持ち、ハイヅカ湖周辺の5つの自治会等の推薦に基づいてダム管理者が登録した人の集まりです。平成22年2月現在5つの自治会あわせて41名の方を登録しています。

ダム守同心の皆さんが日常生活の範囲内で次のような異常を発見したら、ダム管理者へ直接連絡をします。ダム管理者は関係機関と連携して、この異常に

対応します。

- ① ゴミの投棄、立入禁止区域への侵入、外来魚の移植
- ② 天然記念物の捕獲・盗掘、文化財の保全に悪影響のある行為
- ③ 不審者等（不審者、不審物、不審車両、放置車両等）。
- ④ 公共施設の異常（施設の損傷、不具合、落石、倒木、法面崩落、落書きなど）
- ⑤ 水質の異常（油等の流出）

◆ ご参加いただいている関係機関について

ダム管理者と連携し、それぞれの担当分野において上記の異常に対し適切な措置をとっていただいております。現在、警察関係・消防関係・自治体関係、漁業協同組合、利水者など様々な機関からご参加いただいております。

<添付資料>

ダム守同心活動のイメージ 活動の概要 (p d f ファイル)

◆ 今までの活動について

ダム守同心の皆さんの日常活動に加えて、1年に1回程度フィールドワークを実施しています（自由参加）。直近の平成21年4月にハイヅカ湖周辺の人が集まる施設を対象に安全利用点検を実施しました。

